

第二回定例会

3月定例会は3月7日に招集され、17日までの11日間の会期で開催された。
人事案1件、事件案3件、条例案15件、予算案17件、報告1件、諮問1件の町側から提出された議案38件を原案どおり同意・可決した。

質疑

平成26年度一般会計

Q 役場庁舎整備経費 2千3万4千円計上されているが今年度の具体的な動きは。

A 現在内部で事務改善委員会を立ち上げて、意見集約し、新たな庁舎整備の基本的な考え方や規模あるいはレイアウト等基本的なものをまとめてプロポーザル方式で提案を受けていきたい。
業者選定を行い、決まったところで具体的な内容の検討に入るが、同時に庁舎の整備検討委員会を組織して、検討していただく考えである。
具体化させていくため、庁舎整備の基本設計業務を

委託するための予算と検討委員会の委員報酬や旅費、費用弁償を計上した。

Q 橋梁修繕事業7千502万8千円の内容と、修繕対象の橋はどのくらいあるのか。

A 町が管理している橋梁の数は57橋で全ての57橋について調査し、長寿命化計画を策定している。
今年度の事業内容は、新幹線をまたいでいる橋、全部で5橋あり、落橋防止を早急に行うため、実施設計の委託とJRとの設計協議、面替の湯川橋の現況調査、三ツ谷の濁川橋の調査設計で、全部で7橋の測量設計の委託料で2千602万8千円である。
残りの4千960万円の前年



調査予定の橋梁

度に調査設計を済ませた塩野山橋、面替橋、昇龍橋の改修工事に入る。年度を追いながら57橋の長寿命化を図る計画である。

平成25年度国保補正予算

Q 安定化対策事業繰入金2千万円計上の理由と一般会計からの繰り入れは、法定内か法定外か。

A 12月議会終了前の7カ月の一般被保険者療養給付費の歳出は、6千500万円内外で推移していた。ところが、12月請求分7千400万円、1月請求分7千600万円と2カ月連続で歳出予想を上回る状況となった。このペースが、3月から4月までの請求に続く最悪で約5千400万円の不足が見込まれ、基金732万円、予備費900万円等充てても、2千万円の財源不足が生じ、補填するため、一般会計から法定外繰り入れを行なうものである。

人事案件

教育委員に櫻井雄一氏を任命同意



櫻井雄一氏

櫻井氏は栄町在住70歳任期は平成26年3月7日から平成30年3月6日まで。なお、櫻井氏は3月7日開催の臨時教育委員会において、教育長に選任された。

第1回臨時議会

4月8日に平成26年第1回臨時議会を招集し、全会一致で原案のとおり可決した。
◇平成26年度一般会計補正予算案(第2号)について
・主に2月の雪害対策関係

古越 弘 議員



問 近年団塊世代が高齢者となり、高齢化率が増加している中、国民健康保険財政が町財政を圧迫してきている。町長は社会保障をどう捉え、いかにあるべきと考えるか。また、同じ町内に住みながら、一部町税に賦課の有無がある。平等公平にすべきと思うが町の考えを問う。

税務課長補佐

税は公平・公正にと考え最大限徴収努力しているが最終的に差し押さえをするが、それにより生活ができない方には執行停止をかけた不納欠損とし予算から減額している。

保健福祉課長

国保における保険給付費、国保内会計の後期高齢者医療の支援金・介護納付金も、医療の高度化等により支出額が急上昇している。

建設課長

都市計画を立てなければ都市計画税は賦課できない。目的税であり、当町では都市計画道路・都市公園・公共下水道事業に充当し、地方税法の規定どおり課税されて税の賦課の有無に不公平・不公平はない。

社会保障と町税は平等・公平か

国に責務がある 町税に不平等・不公平はない

町長 日本には5本の柱があると思っている。1 社会保険(公的医療保険) 2 公的扶助(生活保護) 3 社会福祉(各種福祉) 4 公衆衛生(伝染病) 5 老人保健(後期高齢者医療制度)であり社会保障は日本国憲法第25条により国が進めてゆく責務があると考え。国の動向に対応していきたい。



ふれあい広場

一般質問

質問議員 12名

古越 弘
越田 敏
池田 健一郎
野元 三英
堀 恵
井村 千恵子
内小市 五

人雄子明
哲恵高
土千恵子
井田 理恵

質問事項 (本号掲載以外のもの)

- 町民の森・メルシャン跡地活用の進捗状況は…古越弘
- 教育長不在の町教育行政について…池田健一郎
- 「健康マイレージ」の導入を…池田るみ
- 新クリーンセンターの進捗状況は…野元三夫
- 国保税引き上げの広報について…仁科英一
- 継続可能な農業支援を
除雪に地域住民の力を結集するために…市村千恵子
- 御代田町リピーター向上に向けて
機能を果たせる地域拠点創りへ…井田理恵